

平成22年 秋 第25号

## 静岡てんかん・神経医療センター情報誌

# あかり

A K A R I

看護師さんを  
募集しています

てんかん学研修セミナーの報告	1
全日本ボーリング大会で準優勝	2
第26回てんかん専門職セミナー報告	3
日本平動物園	3
感染管理認定看護師に合格しました	4
自己紹介	5
病院建物及び敷地内全面禁煙になります	6
てんかん外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ	8
当院へのアクセス/イベント情報/本	8

### てんかん学研修セミナーの報告

当院では全国の医師の先生方を対象にてんかん学研修セミナーを毎年2回、夏(8月末ころ)には成人のてんかん患者さんを診療されている先生方を対象とし、冬(1月末ころ)には小児のてんかん患者さんを診療されている先生方を対象として行っております。セミナーではてんかん診療の基礎、診断、検査、治療などを幅広く紹介させていただいております。

本年も8月27日・28日に成人のてんかん患者さんを診療されている先生方を対象としたセミナーを行いました。今回参加された先生方は北海道から2名、東北地方から1名、関東地方から21名、東海・北陸地方から4名、近畿地方から10名、中国・四国地方から2名、九州地方から2名の合計42名、全国各地からお集まりいただきました。また、卒業年でみますと卒後5年目までの先生が15名、6-10年の先生が12名、11-15年の先生が6名、16-20年の先生が2名、21-25年の先生が2名、26-30年の先生が3名、46-50年の先

生が1名と、やはり若い先生が多く集まられていましたが、大先輩にあたる先生方にも御参加いただきました。また、診療科ごとの内訳としては神経内科の先生が18名、精神科の先生が5名、小児科の先生が3名、脳神経外科の先生が1名で、昨今のてんかん診療を取り巻く状況を反映してか神経内科の先生に多く御参加いただきました。

講義はてんかんの概念という基本的な内容から始まり、症状、検査など診断までに必要な内容、そして薬物治療、さらにはてんかんにおける外科的治療まで広くカバーしております。また、当院の実際の診療現場を見ていただくために病院見学も含まれており、さらに具体的な診断や治療について知っていただくために、実際の患者さんについて話し合う症例検討会も行いました。

セミナー後に記入していただいたアンケートを拝見しますと、「一部の先生の声が小さい」、「講師が遅刻した」、

「資料とスライドが異なる」などのお叱りのご意見もありましたが、それでも「勉強になりました」、「定期的に参加したい」、「毎年続けて欲しい」などのお言葉を多くの先生方からいただきました。実際、「先輩からの紹介で受講しました」などの声も多く、日常診療の合間に準備

をし、日常診療の合間に講義を行っている立場としましては、非常に励まされます。また、内容につきましても「この講義はもう少し時間をかけた方がいい」、「初学者向けのセミナーがほしい」、「レベル別のコースもいいのでは」など非常に参考になるご意見もいただきました。

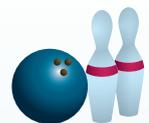
		講 義	担 当
27日	10:20-	開会挨拶	井上 有史
	10:30-11:00	てんかんの概念、疫学、分類	井上 有史
	11:00-11:45	薬物治療論	井上 有史
	11:45-12:30	昼食	
	12:30-13:30	てんかんの発作症状：局在との関連	日吉 俊雄
	13:30-13:45	Coffee break	
	13:45-14:30	てんかんの発作症状：全般てんかんの発作	日吉 俊雄
	14:30-15:15	病院見学	
	15:15-16:00	画像診断	松田 一己
	16:00-16:15	Coffee break	
	16:15-17:00	電気生理学的診断（脳波など）	寺田 清人
	17:00-17:30	電気生理学的診断（脳磁図など）	芳村 勝城
	17:30-17:45	Coffee break	
	17:45-18:30	精神医学的側面	井上 有史
28日	9:00- 9:30	外科治療の適応と術前検査	鳥取 孝安
	9:30-10:30	外科治療	馬場 好一
	10:30-10:45	Coffee break	
	10:45-11:15	高齢者のてんかん	久保田英幹
	11:15-12:00	てんかんケア・包括医療	久保田英幹
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-14:00	症例検討会	

当院ではこのようなセミナーを介して、てんかんの患者さんを診療されている先生方の日々のてんかん診療や研究に少しでもお役に立てばと願っており、さらにはそれにより少しでも多くのてんかん患者さんの助けになればと願っております。今後も、ご指摘いただいた点などを検討しつつ、より先生方、さらに患者さんのお役に立てるようなセミナーを継続していきたいと考えております。なお、セミナーに参加をご希望される先生方は、案内が当院のホームページ (<http://www.shizuokamind.org>) に3-4ヶ月前より掲載されますので、どうぞホームページにしたがってお申し込みください。

(神経内科医長 寺田清人)



## ◇全日本ボーリング大会で準優勝◇



ボーリング・・・。

それは、子供から大人・障害者まで楽しむことができるスポーツです。

初めて私がボーリングに出会ったのは、中山律子さんの時代でした。

一人で手軽に行けて、ボーリング場に行けば、違う職業の人達とも楽しめて、大勢の仲間ができます。初めは趣味で投げているだけでしたが、リーグ戦やいろいろな大会に出場する中で、大勢の仲間ができました。一言でいえば、楽しみが倍になっていきました。しかし、スコアが伸びず、私は楽しいボーリングがしたい、そうどうも止めてしまおうと何度も思いました。

簡単だから難しい、子供にもストライクは出ます。しかし、ストライクを狙っても1本残ってしまう、とてもメンタルなスポーツです。ダメだと思えばミスするし、真剣にレーンと向き合い素直に投げればストライク。これだけ長い間続けて、やっとボーリン

グのことが少しわかった気がします。

今回の大会は、1年前よりジムに通い、身体作りをして臨んだものでした。毎年、決勝へは残っても、2～3回戦で負けてしまっていました。今回の予選では二度もボールが抜けずに、レーンの中へ飛び込んでしまうという失敗をしたのです。しかし、そのことで逆に集中力を一段と高めることができ、準優勝という形で残った気がします。最終戦の決勝では、この腕がどうなってもいい、とにかく恥ずかしい投げ方だけはいたくないという思いで頭の中が一杯になりました。そうしたら、不思議と大勢の観客やあの広いレーンでただ一人投げることも全く気にならなかったのです。祈るような気持ちでレーンと向き合い、一投一投を大事に集中して投げられたのです。終わった時、5ピン差で負けたものの、とても充実した気分でした。何より、ホッとしたのです。全日本で準優勝、私は信じられませんでした。まだ、これで終わりではありません。全日本シニアで優勝したい、この目標に向かい、今後とも努力していくつもりです。

(C2病棟 篠原悦子)

## 第26回てんかん専門職セミナー報告

平成22年8月6日(金)、当センターにおいて、第26回てんかん専門職セミナーが開催されました。今年度は、毎年5月に特別支援学校の教員を対象に療育指導室が中心となって開催している“てんかん研修ガイドス”と8月に小中学校の養護教員を対象にリハビリ、医療福祉相談室が中心となって開催している“てんかん専門職セミナー”を合同で開催いたしました。

「てんかんをもつ学齢児」をテーマに、特別支援学校、一般小・中学校の教員、養護教員、教育委員会関係者を対象として、今年度は静岡県に加えて愛知・岐阜・三重県にも範囲を拡げて参加者を募集したところ、申込みが殺到し定員を超えて54名もの参加がありました(会場の都合で11名の方の参加をお断りしました。ごめんなさい!)

今年度の内容は、高橋臨床研究部長による「てんかんの基本的知識」、豊泉副看護師長による「てんかん発作の対応の仕方と病棟との連携」、杉山発達支援室主任による「てんかん児の教育指導上の留意点」、橋本主任医療社会事業専門員による「てんかん児の家庭と教育、医療

の連携」の4題の講義と施設見学でした。

参加者の皆様は、それぞれの学校でてんかん児を

担当している先生方が多いせいか、たいへん熱心に聴講され、講義の後の質疑応答も活発に意見が交わされました。また、セミナー修了後のアンケートにも「愛知県からも静岡てんかん・神経医療センターに受診している生徒が数多くいます。愛知県は大病院は多いのですがてんかん専門医が少ない(ように感じます)ため、適切な医療ができていない生徒に出会う事もあります。当センターを紹介し、受診を勧める事も実際あります。このような機会は大変、今後の現場に活きると思います。また参加できれば幸いです。」とか「とても良いお話しであり、受講生50人程ではもったいないと思いました。もう少し対象を広げ、多くの人が聴講できるようにしていただけるとありがたいです。」など非常に好意的な意見・感想も寄せられ、このセミナーをお世話したスタッフの一員としてとても大きな励みとなりました。

このセミナーが、てんかんに対する知識や発作への対応の仕方、てんかん児を取り巻く家庭や教育場面などについてより理解を深めるひとつの機会となればと思います。

(療育指導室長 山内 慎吾)



## ※※ 日本平動物園 ※※

3月に開館した日本平動物園の猛獣館は、猛獣をガラス越しに目の前に目にする事ができ、迫力満点です。北極熊のロッキーが泳ぐときは、目の前にガラスを蹴った足の裏がみられます。他にもライオンやトラ、ゴマフアザラシなどが飼われており、参観の皆さんからは「飽きない」という声がしきりに聞かれています。(薬剤科 加藤 正紀)



## 感染管理認定看護師に合格しました

A3副看護師長 西村 由美



私は平成22年5月に行われた、日本看護協会「感染管理認定看護師」認定審査に合格する事ができました。当院には日本看護協会認定看護師がいませんので、その役割があまり認識

されていませんが、認定看護師には実践・指導・相談の3つの役割があります。感染管理認定看護師(ICN)は、保険医療施設における全ての人を感染から守る為の知識と技術を習得し、感染管理に組織的・効果的に取り組む看護師です。平成13年からスタートした認定制度ですが、現在全国に1179人、静岡県に38人のICNがいます。

感染管理認定看護師になる為には、看護師として5年以上の実務経験を有し、更に3年以上感染管理に関わる活動実績が必要です。そして感染管理認定看護師教育専門課程を受験し、6カ月間630時間の専門教育を受けます。そこでは感染管理に関する24科目の単位を全て修得し、それぞれの科目試験に合格しなくてはなりません。約1カ月間の臨地実習も有ります。そして全科目の履修終了後、共通科目・専門基礎科目及び専門科目を網羅する修了試験に合格しなくてはなりません。そうした経過を経て初めて日本看護協会認定審査、筆記試験の受験資格を得ることができるのです。

私は昨年6月に実施された、東京都清瀬市にある国立看護大学校「感染管理認定看護師教育専門課程」選抜試験を受けました。そして10月から半年間、その国立看護大学校で、全国から集まった16人の仲間達と一緒に、最先端の感染管理について学びました。

国立看護大学校では、感染管理に携わる人には神様の存在である、「歩くCDCガイドライン」という異名を持つ西岡みどり教授を始め、サーベイランスの森兼啓太先生や国立感染症研究所長の岡部信彦先生、百日咳ワクチンを開発した織田正昭先生、そして現在ICNとして全国的に活躍されている、国立看護大学校感染管理過程卒業生の藤田烈さん、坂木晴世さんなど、素晴らしい講師の先生方から直接指導を受ける事ができました。とても恵まれた環境で、感染管理について追及する日々を過ごす事が出来ました。私の人生で、これ程集中して一つの事を突き詰めて学んだ経験はありません。『寝食を惜しんで勉学に励む』という言葉がありますが、まさにその状態で、8時間の講義の後、自己学習で7時間以上は机に向かう毎日でした。とても厳しい半年間でしたが、この様なかけがいのない人生のチャンスを与えてくれた職場の皆さまや家族にとても感謝しています。

さて、当院でのICNとしての活動はこれからです。当面は、A3病棟副看護師長としての病棟業務と、ICNとの兼務になり、毎週木曜日を感染管理活動日として、院内外の感染管理業務を実施していきます。医療関連感染防止対策は、誰かがやればいいのではなく、院内全ての人々が感染対策の知識を共有し、実施していく必要があります。これからは院内職員の皆様と一緒に考えながら、当院の感染管理体制を構築していきたいと思っています。多職種が協働している病院内で、感染対策の橋渡しとされるよう活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。感染活動日には、情報収集の為それぞれの職場を訪問しますが、どうぞお気軽に声をかけてください。



## ● ● ● 自己紹介 ● ● ●

## A2病棟 看護師

## 山田 泰聖

出身地 ■ 静岡県

趣味 ■ 深夜の有料道路のドライブ

抱負 ■

今年度からA2病棟で社会人としての一步を踏み出しました。今は病棟で霧の中を彷徨うように不安と迷いが常に立ち込めています。日々の経験と学習をすることで頑張っ少しずつ晴らしていきたいと思っています。

## A3病棟 看護師

## 村松 明恵

出身地 ■ 静岡県

趣味 ■ 寝ること、買い物

抱負 ■

4ヶ月が経ちましたが、まだまだ目先のことしか見えていない状態です。少しでも多く患者様と関わり学ばせていただき、自分自身成長していきたいです。

## A4病棟 看護師

## 渡邊 慶乃

出身地 ■ 三島市

趣味 ■ 読書

抱負 ■

看護師になって一年目ですが、患者様方から色々な事を学びたいと思います。よろしくお願いします。

## A5病棟 看護師

## 白谷 有香

出身地 ■ 福岡県

趣味 ■ 読書、映画鑑賞

抱負 ■

4月から看護師として採用となり、A5病棟で勤務しています。今年看護学校を卒業したばかりの新人ですが、日々勉強をして、患者様の思いに寄り添い、サポートができるように頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

## C1病棟 看護師

## 照井 幹人

出身地 ■ 富士市

趣味 ■ ヒップホップダンス

抱負 ■

4月から重症心身障害病棟で働いています。学生の時と違って現場では沢山の問題や悩みが出てきます。しかし、患者様の笑顔に支えられて頑張っています。今後も患者様の笑顔が沢山見られるように頑張りたいと思います。

## 療育指導室 保育士

## 大場 みなみ

今年の4月から保育士として勤務しています。私の特技は器械体操とピアノを弾くことです。何事にも一生懸命やっていきたいと思っています。わからないことばかりですが、どうぞよろしくお願いします。

## A2病棟 看護師

## 堀江 麻澄

出身地 ■ 静岡県

趣味 ■ ドライブ、ダーツ

抱負 ■

この春、無事看護師になることができました。実習の時に感じたこと、学んだことを生かして自分らしく、笑顔で頑張りたいと思います。

## A4病棟 看護師

## 海野 愛理

出身地 ■ 静岡市

趣味 ■ ドライブ、ショッピング

抱負 ■

今年看護師免許を取得したばかりの新人ですが、先輩方や患者様から色々なことを学びながら一生懸命頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。

## A5病棟 看護師

## 田口 結理

出身地 ■ 静岡県

趣味 ■ バレーボール、お菓子作り、家でボーっとすること

抱負 ■

4月から看護師として勤務しています。全てが初めてで不安と期待でいっぱいですが、元気に明るく頑張っています。よろしくお願いします。

## B2病棟 看護師

## 井口 勝貴

出身地 ■ 沼津市

趣味 ■ スノーボード

抱負 ■

『患者様が笑顔になれる様な関わりを考えられる看護師』になれる様、毎日患者様に接していきたいと思っています。

## C2病棟 看護師

## 川口 洋樹

出身地 ■ 三島市

趣味 ■ 映画鑑賞？柔道

抱負 ■

経験を積み、重心の院内認定看護師を目指すことと、呼吸器に興味があるので勉強をして知識を身につけて、患者様の役に立ちたいと思います。



## てんかん外来再診の診療体制

## てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室	中村	中村	臼井桂	山崎	臼井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今井		井上	今井	松田
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺田	寺田
第6診察室	芳村	山崎		芳村	馬場好
第7診察室		小出		最上	高山
第8診察室			高橋		
第9診察室	重松				重松

## 神経内科

※第2、4週は馬場(国)

	月	火	水	木	金
第10診察室	溝口	溝口	溝口		溝口、馬場 <sup>※</sup>
第11診察室	杉浦	小尾	山崎		小尾

## 特殊外来

転倒予防外来	随時	溝口、小尾
物忘れ外来	随時	溝口、小尾
遺伝相談	適宜	高橋、溝口、小尾

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

## 医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00~12:30 ● 13:30~17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。

上記、医療連携室にお問い合わせください。

## 広報誌編集委員会

## 編集人■

溝口 功一	寺田 清人	藤井 千穂子
佐藤 ひろ美	加藤 正紀	柘植 仁
児玉 和久	中島 賢二郎	堀 友輔
山本 恵	長田 英喜	

発行 ■ 平成22年10月29日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

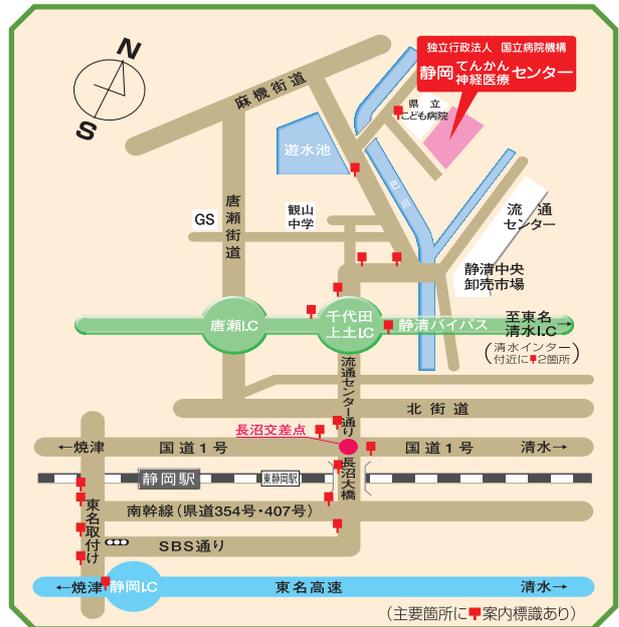
#### 4 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

### 当院へのアクセス

### access

バスをご利用の場合	JR静岡駅前、北口バスターミナル2番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・国立神経医療センター」行に乗車、終点の“国立神経医療センター”で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人350円、小児180円。
タクシーをご利用の場合	JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,200円程度。
お車の場合	東京方面から 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約20分。
	名古屋方面から 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約30分。



## BOOK

### ●アトラス てんかんの発作間欠時・発作時脳波を読む【診断と治療社、2007年】

てんかん症候群におけるあらゆる病態の脳波記録を網羅的に掲載し、それぞれについて詳細でわかりやすい脳波判読のしかたを解説しています。

### ●てんかん症候群：乳幼時・小児・青年期のてんかん学【中山書店、2007年】

世界で愛読されているてんかんの教科書です。典型的な発作DVDが付属しています。

### てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)